



2023年2月28日

各位

会社名 株式会社ブレインパッド
代表者名 代表取締役社長 執行役員 CEO
高橋 隆史
(コード番号：3655 東証プライム)
問合せ先 取締役 執行役員 CFO 石川 耕
(TEL. 03-6721-7701)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要についてのお知らせ

当社は、取締役会の機能向上を図ることを目的に、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しております。このたび、第5回目の評価を実施いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の実施方法

当社取締役（社外取締役を含む、計9名）を対象として、2023年2月に、取締役会の実効性に関する34項目の5段階評価および8項目の自由記入欄を設けたアンケートを実施し、全員から回答を得ました。このアンケート結果について匿名化処理を行い、取締役会全体で共有のうえ意見交換・討議を実施し、当社取締役会の実効性に関する評価を実施いたしました。

2. 分析・評価結果の概要

(1) 実効性の分析・評価

- ・取締役会に上程される議題・議案の適切性や説明品質、および取締役会における各種議論に対する社外取締役および監査等委員の貢献に対する評価に向上が見られ、取締役会の審議・意思決定プロセスは適切であり、取締役会の実効性が確保されていることが確認された。
- ・その一方で、昨年10月の執行役員制度の導入を皮切りとして、経営体制の強化を一段と推し進めるために、取締役会自体のレベルアップが必須であるとの意見が多く見られ、具体的には以下の課題があることが認識された。

(2) 今後の課題

- ・企業価値のさらなる向上に向け、取締役会および経営陣の構成として、会社経営や隣接領域の事業経験が豊富な人材や、技術領域に強い人材を補強する必要がある。
- ・取締役会自体の進化に向けて、社外取締役に期待される役割をより具体化する必要がある。
- ・持続的な成長を実現していくために、中長期目線での経営戦略、人材・後継者育成、リスク管理等に関する議論に多くの時間を割き、議論の質を高める必要がある。
- ・株式市場からの評価を真摯に受け止め、株主との対話や資本市場とのコミュニケーションの強化・改善に関する議論を拡充する必要がある。

3. 分析・評価結果をふまえた今後の取り組み

当社取締役会は、この分析・評価結果をふまえ、取締役会の実効性のさらなる向上を図ってまいります。なお、取締役会の実効性評価については、方法・内容・項目等の再検討を行いながら、今後も継続的に実施してまいります。

以上